

“畑わさびと保田紙で地域再生への挑戦”

安諦生活圏(有田川町)

安諦の現況

【人口】 454人【集落数】 6集落【高齢化率】 53%
 【世帯数】 191世帯 (65歳以上一人暮らし 47世帯)
 【施設】 松谷医院 (押手、板尾)
 押手郵便局、町営住宅
 飲食店 (2)、旅館 (1)、商店 (6)
 安諦小学生15名
 八幡中学 (H23から1名通学)

【主産業】 農業 (稲作、グランドカバー、高原野菜) 【生活環境】
 耕作面積: 96.1ha (田62.2ha畑33.9ha) 路線バス (有鉄) 1日3便
 耕作放棄地: 11.6ha 販売農家: 95戸 (殆ど米) コミュニティバス 3路線とも週1回、
 社会福祉協議会 緊急通報装置等の貸与
 高齡者対策 鮮食料品無し
 商店 6店 主に食料品 (週2回)
 移動販売業者
 【鳥獣被害】 シカ、猪による被害が大きい
 【特産品】 山椒、^(うしやじあみたとう)しみずの米、高原野菜
 【地域資源】 雨錫寺阿弥陀堂、岩坂観音、三大神社

ししとう、ピーマン、
トマト

②安諦の課題

1. 高齢者等の生きがいの場が減少

- ・ 鹿、猪等の鳥獣害が大きく農産物の生産意欲が低下
- ・ 地域特産品の材料が不足している



わさび寿司

③総合対策

〈地域活性化対策〉 3,928千円

○畑わさびプロジェクト【地産地消グループ】 (畑12a 苗11,000本)

- (生産) 耕作放棄地を借り、鳥獣害対策等により畑わさびを栽培、収穫
- (加工) 町内の飲食店で、わさびの葉を材料とした「わさび寿司」に加工
- (販売) わさび寿司は地元飲食店と道の駅で提供するとともに高石市の特産市で販売

○保田紙原料の生産【沼谷ユートピアP】 (畑20a 苗400本)

- ・ 耕作放棄地を借り、鳥獣害対策により保田紙の原料となる楮を生産
- ・ 高齢者生産活動センターで紙に加工するとともに紙すき体験を実施 (同センターで加工した紙製品は道の駅や物産販売所等で販売)

○松茸山の整備【松茸生産組合】

- ・ 松茸生産組合で山を整備して松茸を育てる
- ・ 採れた松茸を物産販売所や高石市の特産市で販売

2. 地域資源を活用した地域外との交流が希薄

- ・ 地域外からの人を呼び込む取り組みが少ない
- ・ 地域伝統芸能が若い世代へ継承されていない

〈生活・交流対策〉 9,000千円

○伝統芸能・文化の継承【安諦寄合会、板尾区、杉野原区】

- ・ 安諦の史跡、名勝が分かるガイドマップを作成し、必要な看板を設置し、地元の語り部を育成
- ・ 三大神社の秋祭りの備品等を整備し、笛奏者等の人材を育成

○「沼谷七滝散策道」の整備【沼谷ユートピアP】

- ・ 7滝を巡る散策道を地区住民が手作りで整備
- ・ 集落内に間伐材を利用した案内板の設置

○ものづくり体験【沼谷ユートピアP】

- ・ 焼き窯を利用した陶芸体験、ツルで籠づくりやわら草履づくり体験、紙すき体験 (再掲)
- ・ 体験の際、地元で採れた松茸やわさび寿司等の田舎料理でおもてなし

○集落支援活動【有田川町】

- ・ 高齢者世帯及び一人暮らし世帯の訪問、安否確認

目指すべき姿

- ◇ 住民が共に支え合い高齢者が生きがいを持てる集落
- ◇ 地域資源を活用し、地域外の人をおもてなしできる集落

【事業期間】 H24.7~H27.3

【事業主体】 安諦寄合会、沼谷ユートピアP、地産地消グループ
 松茸生産組合、杉野原区、板尾区、有田川町

全体事業費 12,928千円

県	5,813千円
町	3,660千円
その他	2,500千円
地元	955千円